

1. 健康診断結果の判定区分

区分	判定	説明
A	異常なし	今回の検査では異常ありません。毎年健康診断を受検して、健康チェックしてください。
B	軽度異常	軽度の異常を認めます。健康状態や生活習慣に注意してください。
C	要経過観察 (生活改善/要再検)	生活習慣の改善、体調の経過観察が必要です。血圧高値の方は、定期的に測定してください。改善しない場合には、医療機関の受診を勧めます。
D	要精査・要医療	精査、加療が必要な結果です。健診結果を持参の上、速やかに医療機関を受診してください。
E	医療継続	この健診結果を受診の際に主治医に伝えて、通院を継続してください。
M	判定なし	判定不能（生理中等）

2. 各検査項目の判定基準

※問診で治療中の場合は E 判定

検査項目	A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察	D 要精査・医療
BMI kg/m ²	18.5-24.9		18.4 以下、25.0 以上	
腹囲 cm	男性	84.9 以下	85.0 以上	
	女性	89.9 以下	90.0 以上	
血圧 (*) mmHg	収縮期	129 以下	130-139	140-159
	拡張期	79 以下	80-89	90-99
視力	1.0 以上		0.7-0.9	0.6 以下
聴力	異常なし			異常あり
尿糖	(-)			(1+(100))以上
尿潜血	(-)	(±)	(1+)	(2+)以上
尿蛋白	(-)	(±)		(1+(30))以上
AST(GOT) U/L	30 以下	31-35	36-50	51 以上
ALT(GPT) U/L	30 以下	31-40	41-50	51 以上
γ-GT(γ-GTP) U/L	50 以下	51-80	81-100	101 以上
中性脂肪 mg/dℓ	30-149	150-299	300-499	29 以下、500 以上
HDL コレステロール mg/dℓ	40 以上		35-39	34 以下
LDL コレステロール mg/dℓ	60-119	120-139	140-179	59 以下、180 以上
血糖 (GLU) 空腹時 mg/dℓ	99 以下	100-109	110-125	126 以上
クレアチニン mg/dℓ	腎機能は、eGFR で判定			
eGFR mL/min/1.73 m ²	60.0 以上		45.0-59.9	44.9 以下
赤血球数 万/μℓ	貧血は、血色素量で判定			
血色素量 g/dℓ	男性	13.1-16.3	16.4-18.0	12.1-13.0
	女性	12.1-14.5	14.6-16.0	11.1-12.0

判定基準は、日本人間ドック学会の判定区分 2022 年度版を参考としています。

(*)血圧値については、「4. 成人における血圧値の分類」をご覧ください。

3. 肥満度

肥満度	低体重	普通体重	肥満 1 度	肥満 2 度	肥満 3 度	肥満 4 度
BMI 値	18.4 以下	18.5-24.9	25.0-29.9	30.0-34.9	35.0-39.9	40 以上

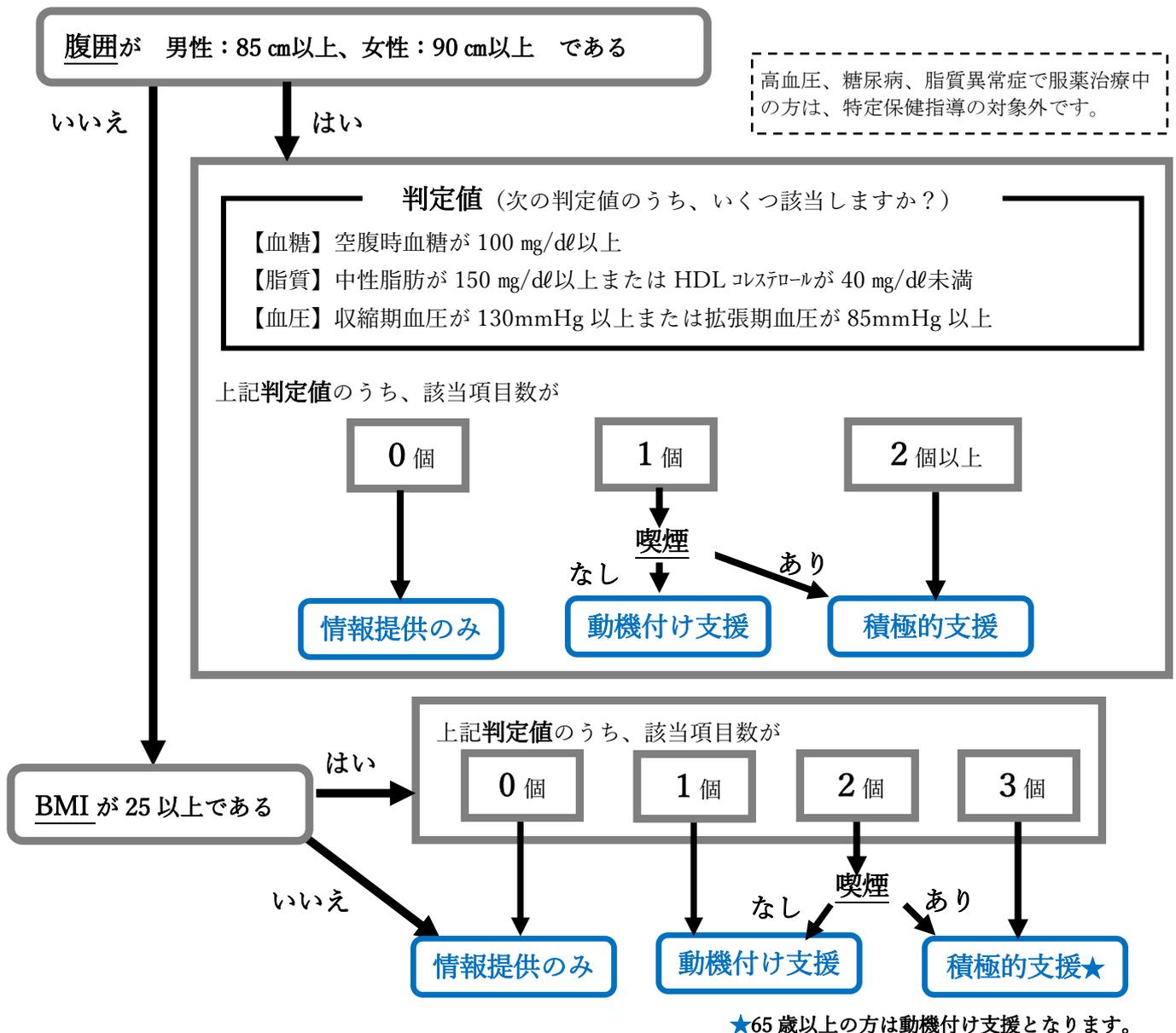
4. 成人における血圧値の分類

健康診断では、診察室血圧の値を用いています。

分類	診察室血圧 (mmHg)			家庭血圧 (mmHg)		
	収縮期	かつ	拡張期	収縮期	かつ	拡張期
正常血圧	<120	かつ	<80	<115	かつ	<75
正常高値血圧	120-129	かつ	<80	115-124	かつ	<75
高値血圧	130-139	かつ/または	80-89	125-134	かつ/または	75-84
I 度高血圧	140-159	かつ/または	90-99	135-144	かつ/または	85-89
II 度高血圧	160-179	かつ/または	100-109	145-159	かつ/または	90-99
III 度高血圧	≥180	かつ/または	≥110	≥160	かつ/または	≥100
(孤立性)収縮期高血圧	≥140	かつ	<90	≥135	かつ	<85

(日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会 (編) : 高血圧治療ガイドライン 2019. p 18 より引用)

5. 特定保健指導レベル分けフローチャート (対象者 : 40 歳~74 歳)



(注)・40 歳以上の方の健康診断の結果は、特定健康診査として保険者である文部科学省共済組合へ提供します。

・「動機付け支援」、「積極的支援」と判定された場合、後日、文部科学省共済組合から『特定保健指導』の案内が送付されます。